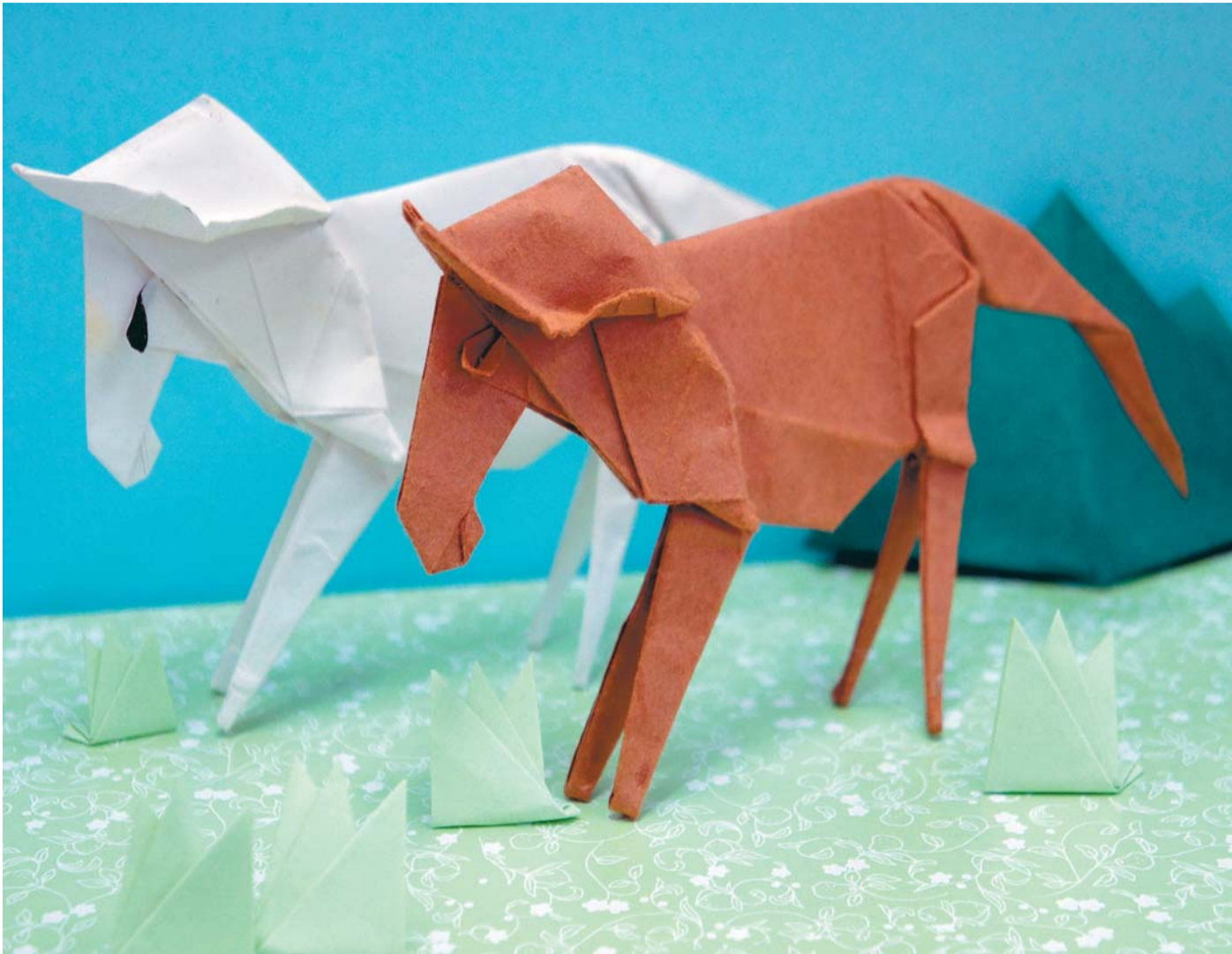


謹賀新年

皆様のご多幸をお祈り申し上げます
平成二十六年新春



今年の干支の馬(午)を折り紙で作ってくださったのは、南平台にお住まいの川地千鶴子さん(90歳)です。毎年干支の動物を折っておられ、「今年も元気で作ることができました」と話されていました。

つながりを大切に
「顔の見える社協」をめざして

(福)高槻市社会福祉協議会
会長 井出 正夫



新年明けましておめでとございます。

市民の皆様方には、旧年中は、市社協に格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて今日、本市の高齢化率も25%超となり、今後も急速に増加していくことが予測され、それに伴い、増加する要援護

者を地域で支えあう工夫が重要かつ緊急の課題となっております。

また、福祉制度だけでは対応が困難な福祉課題や生活課題が深刻化を増しています。このような問題の解決に向け、積極的に事業展開を図り、地域福祉の着実な取り組みを住民と共に連携・協働して「福祉と共生のまちづくり」の実現に努めて参りたいと存じます。

同時に、事業活動経費であります社協の自己財源(会費収入、募金、寄

人と人との支え合い・助け合いが
地域の力を高める

高槻市長 濱田 剛史



新年明けましておめでとございます。

社会福祉協議会におかれましては、住民主体の立場から、地域福祉の向上に日々取り組んでいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、市制施行70周年記念事業の「高槻市全

付金収入等)が年々減少していく傾向にあり、大変苦慮いたしております。今後の地域福祉の展開に、より一層住民の皆様のご支援とご協力をお願いするものです。

地域福祉の推進役として、住民の信頼と認知度を高め、「顔の見える社協」をめざして参ります。そのため、常に社会情勢の変化や住民課題を真摯に受け止め、事業の公共性と社会的使命・役割を担う力をつけていかなばならないと決意を新たに職員総力で地域福祉の向上に取り組みで参る覚悟でございます。

本年も皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

災害が発生した際、特に災害からの復興に向けましては、社会福祉協議会とともに「災害ボランティアセンター」の設置運営の訓練を行う予定でございます。

点心

新年を迎えましたが、昨年一年を振り返ってみると予測の難しい自然災害が深刻であった。異常気象による竜巻や集中豪雨、大気汚染物質のPM2.5が恐ろしい▼事件、事故も多数発生した。相変わらず詐欺事件、ストーカー殺傷事件など、目を覆いたくなるような事件が頻発▼明るいニュースは今年の漢字に「輪」が選ばれたように、オリンピックの開催地が東京に決まったことが印象に残る▼私自身においても、楽しかったこと嬉しかったこと、悲しいことや辛いことがあった。皆さまも同様でしょう▼昼と夜が繰り返してやってくるように、紙には表と裏があるように、人が生きていくということは楽しい時もあれば苦しいこともある▼でも悲しい事件や事故がある反面、救いの手をさしのべようとしている人々も多くおられる。地域の福祉委員会をはじめ、民生委員児童委員や包括支援センター、福祉団体、ボランティア団体、そして近所の人々▼ただ、困った時には救いの手を求める勇気がとても大切だ。日本もそう見捨てたものではありません。(植木)